

平成 27 年度東濃支部学術研修会報告

先日、東濃多治見では 39.9 度と全国 1 位を記録しました。猛暑日が続いていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、去る 8 月 8 日（土）に開催された研修会について、以下に報告致します。

今回は、セラトピア土岐にて、独立行政法人岐阜県立多治見病院の広田晋先生をお招きして、「すぐに使える！呼吸・循環フィジカルアセスメント」と題し、ご講演頂きました。参加者は 26 名で東濃支部以外からの参加者、若手理学療法士の参加者が多いことが特徴でした。



講演冒頭は、広田先生のリハビリテーションに対する熱い語りから始まり、会場内の室温は一気に上昇しました。

講演は、我々理学療法士が得意とする視診・触診をベースに、食事・飲水量、尿量、バイタルサイン、痰の性状、レントゲン所見など幅広い視点から患者様・利用者様を評価する重要性を、ご自身の臨床経験と文献的考察を加えながら、分かりやすい展開で進んでいきました。途中で肺区域体操などの実技も取り入れて頂き、1 時間半の限られた時間ではありましたが、充実した内容でした。



まとめとして、

①フィジカルアセスメントとバイタルサインはセットで評価し、様々な評価内容を統合して、目の前で起こっている事象を判断する②血液データなど客観的な指標は、現在生じている異常値だけで判断するのではなく、経過を見て判断すると締めくくり、講演は終了しました。もっと聴きたいと感じた受講者も多かったのではないのでしょうか。講演後に多数の受講生が質問に並んでいる光景も印象的でした。

最後に、貴重な時間をさいてご講演頂きました広田先生、座長を務めて頂きました市立恵那病院の岡山先生、準備に携わってくれたスタッフの皆様、準備や後片付けを手伝っていただきました会員の皆様に心より御礼申し上げます。